

# まぼろしへのかけはし

基本理念 希望のある医療

## 原発性腋窩多汗症について

皮膚科 藤原 規広

そろそろ夏本番です。紫外線がどんどん強くなり、湿度も上がってきております。

当然暑い時にはたくさんの汗をかきますが、それ自体は正常な反応です。しかしながら日常生活に支障をきたす程の発汗は多汗症という病気の可能性があります。手のひら、足の裏、腋下などに発汗の多い局所性多汗症はストレス、緊張などのメンタル的な要素があるとされています。ナイーブな思春期の学生さん、ストレスを感じやすい女性などに多いとされています。今回は腋下の多汗症、原発性腋下多汗症の治療について話します。

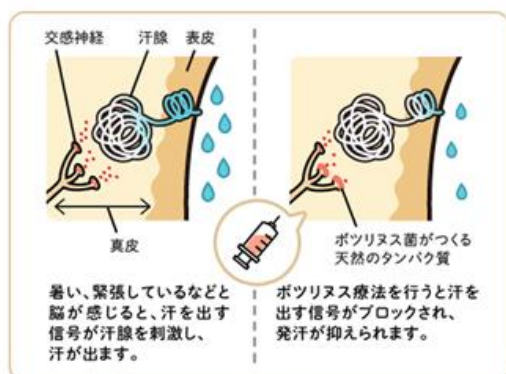
【当院での治療法】外用薬、内服薬、注射です。

**1. 外用薬**は塩化アルミニウムという薬です。汗腺を変性させる事で効果が出ると言われております。即効性はありませんが根気よく続ける事で効果がでてきます。汗が出ていない乾燥している状態で外用しましょう。ただかぶれる事があるので注意しましょう。

**2. 内服薬**でよく使われるものはプロバンサインです。副交感神経から出る伝達物質であるアセチルコリンを抑制する作用があります。プロバンサインは基本的には長期に内服する薬ではなく、汗をかきたくない状況のとき（プレゼン、会議など）に使用します。1時間程で効果が出て4、5時間程持続します。プレゼンなどの1時間前に飲むのが良いでしょう。

内服しているうちに使い方のコツがわかってくるはずですが、副作用は主に口の渇きです。ストレスの要素が強い場合には抗不安薬を使ったりもします。

**3. 注射薬**はボトックスという薬です。ボツリヌス菌がつくる毒素を有効成分としており発汗抑制作用があります。注射をするとだいたい1週間で効果がでます。6~9か月間効果が持続します。そのため、春頃に注射をして厳しい夏場を乗り切るとい患者さんが多いです。片方に25か所、両脇で50か所も注射します。できるだけ痛くないように細い針を使います。また御希望によって注射前にアイスパックでワキを冷やして痛みを感じにくくする事も出来ます。難点は高額である事ですが保険適用です。



※グラクソ・スミスクライン社のサイトより引用

# お知らせ

## 1. 6月のホッとひと息寄り道講座

テーマ： 知らないと損をする!?検体検査のカラクリ

講師： 臨床検査技師

日時： ①6月11日(月)②27日(水) 10:00~10:30

場所： 正面玄関ホールの公衆電話前

## 2. オープンカンファレンス開催のお知らせ

日時： 6月28日(木) 17:30~18:40

場所： 2階講義室

テーマ： **【医療安全】**

対象者： 医療職・介護職の方

※地域医療連携室まで申し込みをお願い致します(当日まで可)

## 3. セタコンサート開催のお知らせ

日時： 7月6日(金) 16:00~

場所： 正面玄関ホール

手作りコンサートを行います。

さわやかなハーモニーで癒やされたいと思います。

どなたでも気軽にご参加下さい。



## 4. 生活習慣病教室開催のお知らせ

日時： 7月18日(水) 13:30~15:00

場所： 2階講義室

テーマ： **【慢性腎臓病について、腎臓病に関する検査について】**

講師： 医師、臨床検査技師

※ワンポイント体操がありますので、動きやすい服装でお越し下さい。

血圧測定、尿検査を行います。

筆記用具は各自でお持ち下さい。

\*にこにこポイント対象です！(20ポイント)

当病院の医師をはじめとする医療スタッフが、生活習慣病について、予防や治療方法などをわかりやすく説明いたします。一緒に勉強していきましょう！



きぼうへのかけはし

に関するお問合せは、

地域医療連携室までお願いします。

連絡先 〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33-1

TEL 079-442-3981(内線5146)

FAX 079-443-1401

ホームページ <http://www.hospital-takasago.jp/>